



学校だより

東京都立府中けやきの森学園
〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1
TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476
<https://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp>
令和7年 10 月 31 日(金)発行 第8号

肢体不自由教育部門小学部高学年の I C T機器を活用した授業

肢体不自由教育部門小学部副主任 主任教諭 齊藤 健夫

肢体不自由教育部門小学部高学年の取組です。Aグループは、タブレット端末で漢字のなぞり書きを行っています。間違いの修正がしやすく、集中して学ぶことにつながっています。Bグループは、都道府県について調べています。大型ディスプレイで「未来タッチ」を活用し、友達と協力しながら学んでいます。Cグループは、読み上げアプリ「のじぎく」をスイッチで操作し、自分のペースで絵本を楽しんでいます。今後も、児童の可能性を広げるために、デジタル機器の効果的な活用をすすめています。



Aグループ（漢字学習）



Bグループ（調べ学習）



Cグループ（読み聞かせ）

知的障害教育部門小学部高学年の I C T機器を活用した授業

知的障害教育部門小学部主任 主任教諭 鬼岩 真也

知的障害教育部門小学部高学年音楽(キーボードグループ)の授業を紹介します。音楽の授業では歌唱、器楽、身体表現、鑑賞の全ての活動においてデジタル機器を活用した学習を行っています。その日の授業の流れを液晶画面で確認することから始まり、歌唱では「ひらいたひらいた」の歌詞を液晶に表示しながら歌い、身体表現では教師の手本動画を観ながら「それもいいね」のダンスを踊るなどして活動しています。器楽の「チューリップ」では、キーボードやグロッケン、木琴などの楽器を鳴らすタイミングを液晶に表示することでリズムよく楽器を鳴らすことができました。



肢体不自由教育部門中学部の I C T機器を活用した授業

肢体不自由教育部門中学部主任 主任教諭 佐藤 英樹

肢体不自由教育部門中学部では、年間4回ほど学部全体で学習する機会として、学部集会（特別活動）を実施しています。生徒全体で40名と人数が多いため、学習場所を3つに分けオンラインでつなぐことで、お互いの活動風景を確認しながら学習を進めています。生徒たちはそれぞれの場所で司会などの役割分担を決め、別の場所にいる友達へのアナウンスをすることで、集会のスムーズな運営を学んでいます。オンラインでの学習は、離れた場所でもお互いに表情を見ながらコミュニケーションを取ることができるため、今後も生活の中でも活用する機会が増えてくると思います。生徒たちがいろいろな機会にこうした I C Tを活用した学習場面に触れ、デジタル技術を使うことに慣れるとともに、その経験を積極的に活用する力を伸ばしていけるよう、今後も指導してまいります。



知的障害教育部門中学部の I C T機器を活用した授業

知的障害教育部門中学部主任 主任教諭 武藤 笑実

作業学習のハンドワーク班では、呼名や作業の約束の確認、挨拶練習をタブレット端末を活用して生徒が行っています。日誌の書き方や担当の仕事、予定の表示も行われ、生徒が自分で考え行動できることが増えてきました。

美術では、自分の顔やイメージしたものをタブレット端末に表示し、形や色を確認しながらより具体的に制作することができました。作品や制作過程を撮影し、振り返りにも活用しています。

中学部3年生は、修学旅行の事前学習でタブレット端末を使用した調べ学習を行いました。修学旅行先の箱根と自分たちの住んでいる府中の名所について、資料から必要な情報を見付けて分かりやすく表にまとめました。今後も様々な活動を通して、一人一人に応じたデジタル機器の活用を進めていきます。



知的障害教育部門小学部 5・6 年移動教室

知的障害教育部門小学部 5 年 主任教諭 中井 悠

5、6 年生は、高尾の森わくわくビレッジに行ってきました。事前学習では行程確認のほかに、布団の敷き方やシーツのたたみ方、お風呂に入ったときの体の洗い方など具体的な場面に応じて練習を重ねてから移動教室に行きました。その学習が生かされ、現地では多くの児童が落ち着いて活動に参加できました。また、児童一人一人が係の仕事を担当しました。あいさつ係や部屋の中での係に責任とやりがいをもって取り組むことができました。

誰一人、怪我や体調を崩すことなく帰ってくることができました。思い出を写真で振り返ると、「楽しかった。」「またすぐ行きたい!」と、嬉しそうに感想を述べる子もいて、楽しい思い出になりました。



知的障害教育部門中学部 3 年修学旅行

知的障害部門中学部 3 年 教諭 堺 雄一

箱根へ行ってきました。事前学習では、背負ったリュックサックを前へ移動させてからお財布を取り出すなどの買い物の練習や、経験の少ない足湯や浴衣の体験学習などに取り組みました。係活動においてもコツコツと荷物に付ける名札作りの準備をしたり、レクリエーションの計画を立てたりと、一人一人が、係活動に責任をもって真摯に取り組むことができました。

現地では、地域の方々への挨拶や触れ合いを通して、生徒たちの心を大きく成長させることができました。誰一人欠けることなく、穏やかに楽しめた二日間でした。事後学習では動画や写真の振り返りで、それぞれが目をキラキラ輝かせていました。また、授業参観にて修学旅行で楽しかったことのポスター発表をし、準備してくださった保護者に感謝の気持ちを伝えることができました。保護者の皆様には、様々な面で御協力をいただき、無事に活動を終えることができました。ありがとうございました。



知的障害教育部門小学部 1・2 年校外学習

知的障害教育部門小学部 教諭 川名 紘史

1、2 年生は、井の頭自然文化園に行ってきました。夏の暑さも和らぎ、屋外での活動に適した気候での校外学習を行うことができました。

1 年生にとっては初めての校外学習で、バスに乗るところからわくわく、どきどきしていましたが、担任の先生の話をよく聞いてバスに乗ったり、園内を移動したりすることができていました。2 年生は昨年の経験を生かして、見通しをもって園内を周ることができており、昨年以上に動物を見るのを楽しみながら過ごすことができました。

園内にあるスポーツランドでは、メリーゴーランド、動物行進の二つの乗り物に乗りました。事前学習で乗り物の映像を見たことで楽しみにしている児童が多く、自分の好きな動物を選んで乗ることができていました。初めて乗る乗り物ということもあり、乗ることを少し怖がる児童もいましたが、担任の先生と一緒に安心して乗る姿も見られました。

昼食は、事前学習でお弁当を食べる練習をした成果を生かして、自分でシートを敷いて美味しく食べることができました。保護者の皆様にも御協力をいただいたことで、充実した校外学習にすることができました。ありがとうございました。



知的障害教育部門小学部 3・4 年校外学習

知的障害教育部門小学部 教諭 塩谷 有紀

3、4 年生は、小金井公園に行ってきました。秋の涼しさを感じる気候の中、自然と触れ合い、盛りだくさんの校外学習になりました。

3 年生は、初めての小金井公園でした。校外学習の約束やスケジュールなど、一つずつ確認しながら活動することができました。4 年生は、昨年度の経験をもとに、見通しをもって積極的に活動に参加していました。

今回の校外学習では、園内に常設されているソリゲレンデとふわふわドームで遊びました。事前学習では、「楽しみなこと」にソリとふわふわドームを挙げていた児童も多く、現地を目の当たりにすると、キラキラした笑顔が見られました。担任や友達と一緒にソリすべりをしたり、ドームで跳ねる感覚を味わったりしながら楽しく活動することができました。

昼食は学年ごとに分かれてお弁当を食べました。レジャーシートや弁当の準備を自分から進んで行ったり、仲の良い友達を誘って隣り合って食べたりしました。

校外学習を行うにあたり、保護者の皆様には様々な御協力をいただき、無事に活動を行うことができました。ありがとうございました。



肢体不自由教育部門小学部 4 年校外学習

肢体不自由教育部門小学部 主任教諭 齊藤 健夫

10月7日(火)、4年生は武蔵府中ル・シーニュへ校外学習に出かけました。今回の学習のテーマは「自分で選び、考えて買い物をする」こと。事前に、校内での2回の事前学習と欲しいものを保護者と相談して決め、予算の中で買い物をする準備をしてきました。

当日は、まず100円ショップ「ワッツウィズ」で写真立てなどを購入しました。これは、事後学習で思い出の写真を飾るためのものです。子供たちは、商品に触れたり、見たり、見比べたりしながら選んで買う姿が見られました。続いて、「おかしのまちおか」でお菓子の買い物をしました。限られた金額の中で、好きなお菓子を選ぶ楽しさに、笑顔があふれていました。買い物の後は、施設内の会議室をお借りして、友達と一緒にお弁当を食べました。手作りお弁当に舌鼓をうちながら、にぎやかで楽しいひとときを過ごしました。帰りのバスでは、疲れた様子の子供たちが、心地よさそうにうたた寝をする姿が見られ、充実した一日だったことがうかがえました。

今回の校外学習を通して、商業施設で、身近な大人と一緒に買い物をする、公共の場でのマナーに触れること、友達と協力することなど、たくさんことを学びました。

保護者の皆様には、事前の相談やお弁当の準備など、御協力いただきありがとうございました。



肢体不自由教育部門小学部 5 年校外学習

肢体不自由教育部門小学部 教諭 小野 快

天候にも恵まれた9月30日(火)、武蔵府中ル・シーニュへ校外学習に行ってきました。「仲間と協力して」、「自分で選んで買い物をしよう」をめあてに、当日、子供たちは友達の買い物中マナーよく待つことができたり、事前学習で行ったセルフレジの使い方を思い出し、自分で代金を支払うことができたり、立派な行動を見せてくれました。

買い物は「ワッツウィズ」と「無印良品」の2か所で体験してきました。「ワッツウィズ」では、自分で選んで、好きな買い物をしました。「無印良品」では全員ジュートバッグを購入し、後日、学年特別活動の時間を利用して、飾りつけを行いました。個性あふれる素敵なバッグがたくさんできました。

残念ながら当日体調不良等で行くことができなかった児童もいましたが、その子たちは事前学習で「セルフレジの使い方」や「買い物の仕方」で、みんなのお手本となって前でやってみせてくれた子たちでした。参加した子には「〇〇さんがお手本を見せてくれたから、みんなができたこともあったよね。」、参加できなかった子には「〇〇さんが事前学習で頑張ってくれたから、みんなも楽しく行ってくることができたよ。ありがとう。」と教員から伝えました。校外学習は5年生全員の力で成功できたものだと思います。

当日のお弁当の準備等、保護者の皆様には、御協力いただいたことを感謝申し上げます。ありがとうございました。



肢体不自由教育部門中学部 1 年校外学習

肢体不自由教育部門中学部 教諭 関口 華枝

10月16日(木)、中学部1年生は多摩六都科学館へ校外学習に行きました。中学部に入学して初めての校外学習で、事前学習のときからとても楽しみにしていました。

館内に入ると科学館公式マスコットキャラクターのペガロクが出迎えてくれ、ペガロクと一緒にクラス写真や学年写真を撮ることができました。館内では2班に分かれ、五つのブースを見学・体験しました。どのブースも興味をひかれる展示がたくさんありましたが、特に人気だったのはしくみの部屋とからだの部屋です。展示にあるボタンを押したりハンドルを回したりして、自分で操作しながら学びを深めることができました。また、乗り物に乗って体験した生徒もいました。学年で作成したスタンプラリーに沿って展示をまわり、宇宙飛行士や昆虫を見付けたり、地球の前でクラス写真を撮ったりしました。限られた時間でしたが、見事全員でクリアすることができました。

事後学習では、科学館での学習はもちろんのこと、スクールバスでの移動や昼食の時間も楽しかったという感想が多く出されました。友達と楽しみながら科学の楽しさや面白さに触れ、たくさん「見て・感じて・学んだ」一日となりました。

校外学習を行うにあたり、保護者の皆様には様々な御協力をいただき、無事に活動を行うことができました。ありがとうございました。



肢体不自由教育部門中学部 2 年校外学習

肢体不自由教育部門中学部 教諭 松崎 裕美子

10月2日(木)、西東京市の多摩六都科学館へ校外学習に出かけました。館内の五つの展示室では、光・音・宇宙・自然などのテーマに沿った体験を通して、科学の不思議に触れることができました。

チャレンジの部屋には、光の性質やものの運動についての体験型の展示物がたくさんありました。月の重力を体感するムーンウォーカーは、軽い力で高く跳び上がることができ、「せーの!」と掛け声をかけて楽しみながら意欲的に身体を動かしていました。また、しくみの部屋では、スイッチを押してリニアモーターカーを動かしたり、透明なピアノを弾いてハンマーが動く様子を見て驚いたり、生徒たちは「見て・触れて・感じる」学びを楽しんでいました。どの部屋でも普段の授業では味わうことができない体験が盛りだくさんで、友達と発見を伝え合ったりする姿も見られました。後日、特別活動で行った事後学習では、当日の写真からお気に入りを選んで紹介したり、思い出をスライドにまとめて発表したりし、全員で学びを共有することができました。

保護者の皆様には、生徒たちの健康管理や持ち物等の準備など、様々な御協力をいただき、ありがとうございました。



ポニーふれあい体験

知的障害教育部門小学部担当 主幹教諭 松島 宏樹

10月9日(木)に、小学部児童を対象に「ポニーふれあい体験会」を実施しました。絵本や写真、テレビで見ることはあっても本物のポニーに触れた経験のある児童は少なく、今回が初めてとなった児童がほとんどで、皆、とても楽しみにしていました。当日は、大人でも乗ることができるような大きなポニーから小さなポニーまで、4頭のポニーがやってきてくれました。そばに行く緊張感あふれる表情の児童たちでしたが、ポニーのとても落ち着いた動きと優しい眼差しに安心したようで、児童たちも勇気を出してポニーの背にまたがって得意げな表情をしたり、ポニーに顔を近づけてそっと頬を優しく撫でてうっとりしたり、すべての児童が穏やかで優しい笑顔になることができました。ポニーから素敵なプレゼントをもらうことができた一日となりました。御協力いただいた「公益財団法人ハーモニセンター」様は、蓼科にポニー牧場をもって活動している他、目黒区碑文谷公園や相模原市麻溝公園でふれあい動物広場も運営されています。ここに行けばいつでも乗馬体験ができるそうなのでぜひ出かけてみてください。



P T A けやきまつり with ふゆのおんがくかい

P T A 担当 主幹教諭 加納 恵子

10月18日(土)、心配していた天候も幸い雨に降られることなく、450名を超える多くの来場者を迎え、P T A 主催の「けやきまつり with ふゆのおんがくかい」が開催されました。両部門高等部の作業班の製品販売や、知的障害教育部門高等部の和太鼓部、ダブルダッチ部、表現活動部の舞台発表の他、外部団体の展示や発表、販売も多く行われました。



高等部の作業販売では、製品を見て気に入ってくださった方が多く、たくさんの方に購入していただくことができました。また、部活発表では来場者の皆様から多くの拍手が送られ、大変充実した時間となりました。販売や発表を終えた生徒たちの表情は、やり切った！という達成感に満ち、「みんなとできて楽しかった。」「もっと踊りたい！」「お客さんとも話せて楽しかった。」という感想が聞かれました。

外部団体の展示や販売等では、普段は近くで見ることができない車両に乗ったり、スイッチ操作できるゲームを楽しんだり、鳥肌が立つような見事な楽器の音色に触れたりできました。また、府中市立第六中のボランティアの生徒さんのお手伝いで、的あてや魚釣りなどの縁日コーナーを行い、小さなお子様から大人の方まで、多くの方に楽しんでいただきました。



事前準備をしてくださった P T A 役員をはじめ、当日の展示や販売、発表に来てくださった皆様、運営を支えてくださったボランティアや保護者の皆様、本当にありがとうございました。

